

## 学 会 録 事

### 1. 日本藻類学会第4回春季大会

本年度で4回目を迎え、昭和55年3月31日と4月1日の両日、昨年と同じく東京水産大学において開催された。本大会は130名の参加申し込み(欠席者8名)があり、41題の研究発表が活発に行なわれた。昭和52年度より実施されている春季大会は、参加者が常に100名を越し、年々講演数も増加していることから、学会誌「藻類」の刊行と共に重要な学会活動として定着したことを示している。大会終了後、昭和55年度総会及び懇親会が参加者70名で開かれた。大会・総会並びに懇親会の開催について、会場の設営と当日の運営に東京水産大学の水産植物関係の方々のお力添えを戴いたことを厚く御礼申し上げたい。

大会参加者：赤塚伊三武、秋山 優、鯨坂哲朗、安達六郎、荒木 繁、有賀祐勝、安藤一男、庵谷 晃、猪川倫好、井口隆夫、石川依久子、出井雅彦、井上 勲、今田 克、岩崎英雄、岩本康三、上山 敏、臼井健司、梅沢毅彦、大島海一、太田雅隆、大野正夫、大野幸正、大房 剛、大森長朗、岡崎恵視、岡本直子、小川廣男、奥田弘枝、加崎英男、笠原和男、梶村光男、加藤久美子、加藤 孝、加藤幸男、片田 実、川井浩史、川口栄男、川端清策、喜田和四郎、木村憲司、楠元 守、国藤恭正、熊野 茂、倉掛武雄、黒木宗尚、高原隆明、小林艶子、小林 弘、今野敏徳、斎藤英三、斎藤捷一、斎藤 均、斎藤 実、斎藤 譲、桜井武磨、佐々木孝夫、沢井真理子、篠田直美、須貝敏英、須藤俊造、須永陽之助、関根仁市、造力武彦、高木勝行、高田昭典、高田英夫、高野秀昭、高橋 豊、田中 清、千原光雄、津村孝平、寺尾公子、寺脇利信、徳田 広、鳥海三郎、中島研一、中嶋 泰、長島秀行、中村義輝、南雲 保、西澤一俊、野崎久義、野呂忠秀、畑 正好、畑田太美子、浜田真美、原 慶明、平山知子、福島 博、福代康夫、藤井美奈子、藤原秀一、舟橋説住、F. P. ブランディーニ、堀 輝三、堀口健雄、前川行幸、正置富太郎、増田道夫、松井敏夫、真山茂樹、丸山 晃、三浦昭雄、右田清治、水沢政雄、御園生 拓、宮田昌彦、宮地和幸、本村泰三、森 宏枝、諸星裕夫、梁川芳明、柳本正勝、山岸高旺、山田家正、横浜康継、吉武佐紀子、渡辺研太郎、渡辺 信、渡辺真之、綿貫知彦

### 2. 評議員会報告

第4回春季大会第1日目(16:45~20:30)に評議員

会が開かれ、55年度総会に提出する報告事項、議題について審議がなされた。審議内容は総会報告と重複するので、その項で報告する。

出席者：黒木宗尚会長。評議員：有賀祐勝、千原光雄、喜田和四郎、小林 弘、松井敏夫、右田清治、大森長朗、山岸高旺。幹事：増田道夫、今野敏徳、山田家正。

### 3. 編集委員会報告

第4回春季大会第1日目(12:00~13:30)に編集委員会が開かれたが、審議事項は総会で報告されたので次項で述べる。

出席者：黒木宗尚会長。編集委員：秋山 優、有賀祐勝、千原光雄、堀 輝三、小林 弘、正置富太郎、右田清治、西澤一俊。

### 4. 昭和55年度総会

昭和55年4月1日(16:30~17:30)東京水産大学にて開催された。会長挨拶のあと、議長に西澤一俊氏(日本大学)が選出され審議に入った。

#### I. 報告事項

##### 1. 庶務関係

- (1) 会員状況(55.3.29現在) 名誉会員1名。普通会員483名。学生会員52名。団体会員41件。賛助会員14件(15口)。外国会員71名。
- (2) 8月20日~9月15日の間に会長並びに評議員選挙を行なう旨報告があった。
- (3) 日本植物学会第45回大会開催時(仙台、東北大学)に講演と懇親会を行なう計画であり、東北地区評議員鬼頭 鈞氏(東北区水産研究所)と協議中との報告があった。
- (4) 文部省科学研究費補助金研究成果刊行費<学術定期刊行物>は昨秋から申請中であることが報告された。補助金をすでに受けている他の学会誌と比較して「藻類」の発行部数が少ないことが懸念されるので、会員の増加が望まれる。

##### 2. 評議員会関係

総会に提出の議題の他に次のことが審議の上、諒承されたことが報告された。

- ① 応用藻学、特に水産関係の論文の投稿が少ないので、関係の方々の投稿をお願いしたい。
- ② 教材としての藻類、水産技術的な解説記事、あるいは写真ニュースなどを雑報として掲載し

表—1 昭和54年度 一般会計決算報告

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
会 費	2,261,229	印 刷 費	2,697,400
〔国内 普通会員 533 件 学生会員 61 件 団体会員 39 件 賛助会員 4 件 国外 19 件〕	1,839,200 100,700 158,000 50,000 113,329	〔27 卷 1~4 号 別 刷〕	2,494,000 203,400
販 売	755,249	発 送 費	159,480
〔定期 (27 卷 50 口) バック〕	300,000 455,249	〔27 卷 1~4 号 別 刷〕	130,930 28,550
別刷代 (33 件)	213,965	通 信 費	65,440
論文頁数超過負担金 (8 件)	126,010	編 集 費	57,900
預 金 利 子 (5 件)	11,225	庶 務 費	134,926
広 告 代 (5 件)	78,000	〔事務用品等 会 議 費 事務整理補助 雑 印 刷〕	28,226 7,000 52,500 47,200
		送換金手数料	6,550
		幹事手当 (6 名)	60,000
		事務局移転費	34,790
春季大会より返金	60,000	春季大会運営補助	60,000
小 計	3,505,678	小 計	3,276,486
前年度繰越金	1,217,100	次年度繰越金	1,446,292
合 計	4,722,778	合 計	4,722,778

昭和55年1月31日

日本藻類学会 会 長 黒木宗尚 ㊟  
会計幹事 山田家正 ㊟

本決算報告は適正であることを認める。

昭和55年1月31日

会計監事 川端清策 ㊟  
会計監事 三上日出夫 ㊟

表—2 昭和54年度 山田幸男博士記念事業基金特別会計決算報告

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
山田追悼号売上金 (17 冊)	93,430	次年度へ繰越	753,418
学会出版物売上金	91,749		
〔コンプ論文集 (19 冊) 日米セミナー (26 冊)〕	13,479 78,000		
寄 附 金 (1 件)	10,000		
小 計	195,179		
前年度繰越金	558,239		
合 計	753,418	合 計	753,418

昭和55年1月31日

日本藻類学会 会 長 黒木宗尚 ㊟  
会計幹事 山田家正 ㊟

本決算報告は適正であることを認める。

昭和55年1月31日

会計監事 川端清策 ㊟  
会計監事 三上日出夫 ㊟

て幅広い会員の方々の興味ある「藻類」として行きたい。

- ③ 学会の事務軽減のため、庶務、会計及び会誌発送の業務を学会事務センターに予算の裏付けが可能になり次第、委託するため鋭意検討する。

### 3. 編集関係

#### (1) 編集委員会

① 綜説の制限頁が依頼原稿(会長、編集委員長及び編集委員会からの)に限り、従来の6頁を10頁以内とすることが諒承された。

② 本年12月刊行予定の28巻4号に故三輪知雄先生の追悼論文と追悼文が掲載されることが諒承された。

#### (2) 会誌の発行状況と投稿論文数

27巻4号を昨年12月10日、28巻1号を本年3月10日に刊行し、現在28巻2号の編集集中で6月20日発行予定である。審査中のものを含めて英文6篇、和文2篇が現在受付られている(28巻2号に掲載予定を除く)。

## II. 議 題

### 1. 54年度会計決算報告・同監査報告

54年度決算については本年1月31日会計監事川端清策氏と三上日出夫氏の監査を受け、別表1、2の通り報告承認された。

### 2. 56年度事業計画案

#### (1) 第5回春季大会を昭和56年3月末日~4月

初めに東京付近において開催する。

(2) 56年度総会は春季大会時に開く。

### 3. 山田基金について

従来より山田幸男先生記念事業基金と呼ばれてきた本基金の性格を明確にするため下記の如く運営規定を定めた。

- 1) 日本藻類学会山田基金は、山田幸男先生追悼号刊行事業の残金をもとに創設され、本学会の附帯事業として日本の藻類学発展のため運用される。
- 2) 本基金は山田追悼号(藻類25巻増補)売上金、学会特別出版物(日米セミナー記録、コンブ論文集)売上金、寄附金、及び預金利子をもって充当される。
- 3) 本基金の運用は本学会評議員会で審議決定され、総会で報告される。

山田基金の用途については評議員会で検討中で、学会賞、特別出版物、送金不可能な外国への「藻類」の寄贈などが考えられている。その実施については基金総額が100万円に達した時にその預金利子で賄うこととするという基本的な案が報告された。また、基金を増やすため積極的に寄附金を集める方針であることが報告された。

本会会員菊地勘左衛門氏は去る昭和55年2月9日逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表します。

日本藻類学会